

平成31年度 年間授業計画 (学カスタンダード対象科目用)

教科・科目・単位	理科・化学基礎・2単位	対象学年・組	1年3組・4組(食品科)
教科書(出版社)	改訂 化学基礎(東京書籍・化基314)	副教材など	ニューステージ化学基礎(浜島書店)
教科担任	秋元孝則		

1 科目の目標

年間		
1学期	中間考査まで	元素記号を正しく記すことができるとともに、身近な物質のなりたち等を理解する。
	1学期末まで	原子の構造や原子の電子配置について理解し、さらに周期表との関連性について考えることができる。
2学期	中間考査まで	化学結合について学び、物質を化学式を用いて表したり結合による性質の違いについて考える。
	2学期末まで	原子量・分子量及び物質量を学び、物質量と個数・質量および気体のときの体積の関係を正しく計算できる。
3学期	学年末まで	酸と塩基の性質や酸化還元反応について学習し、各反応の意味や量的関係が理解できる。

2 学習の目標

関心・意欲・態度	科学的事象に関心を持ち、自ら考えることができる。
思考・判断・表現	いろいろな内容から論理的に考え、自らの意見を表現できる。
技能	自らの意見を適切な方法を用いて発表できる。
知識・理解	授業の内容について十分に理解できる。

3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	中間考査まで	物質の探求	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	14	
	期末考査まで	物質の構成粒子	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	15	
2学期	中間考査まで	物質と化学結合	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	16	
	期末考査まで	物質量と化学変化	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	15	
3学期	学年末考査まで	酸と塩基、酸化還元反応	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	10	

4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間)・(期末) 2学期(中間)・(期末) 3学期(期末)
作品法	実習結果 レポート ワークシート 他(ノートの整理、課題等の提出)
観察法	授業中の発言・挙手など 他()
その他	

5 その他